

2015年7月1日

第82号

発行:日本臨床検査技師連盟
発行責任者:宮島喜文
編集担当者:相山広美

日本臨床検査技師連盟ニュース

◆◆連盟ニュース◆◆

今号の主な内容

- ◇連盟執行委員会開催報告
- ◇日本臨床検査技師連盟のブースを開設

日本臨床検査技師連盟

連盟執行委員会開催報告

去る平成27年5月23日(土)13:00より、日本臨床検査技師連盟執行委員会が大森東急REIホテル5階「フォレストルーム」で開催されました。今委員会では、平成27年1月24日に開催された常任執行委員会にて承認された平成26年度決算と平成27年度予算、平成27年の活動計画の報告がありました。議事次第は下記の通りです。また、連盟規約の改正について幹事長より提案があり、討議されました。

◇議事内容◇

1. 平成26年度決算について

平成27年1月常任執行委員会で承認された平成26年度決算について、すでに、平成27年3月23日付で東京都選挙管理委員会に平成26年度政治資金収支報告書として受理されている決算内容が報告され、全員一致で承認された。

【収支の状況】

収入総額 16,451,096円

(前年からの繰越:13,481,096円、本年收入額:2,970,000円(会費納入人数2,590人))

支出総額 4,619,416円

翌年への繰越額 11,831,680円

2. 平成27年度予算について

平成27年1月常任執行委員会で承認されている平成27年度の予算が報告され、平成26年の目標会員数10,000人から5,000人に変更する点も含めて全員一致で承認された。

3. 連盟活動計画(報告)について

平成27年度連盟活動計画は、各部門担当役員より説明がなされた。(次ページ表参照)

連盟報告に対して各都道府県連盟支部から下記のご意見・質問をいただいた。

- ・都道府県の理事会の中で加入を促進している。
- ・技師長会や新入会員研修会をしているので、そのような場所で加入を促す必要がある。
- ・公務員の連盟加入に関する質問に対し、運天副代表から選挙活動はすることはできないが、広報活動を行うことには支障はないという回答があった。

4. 連盟加入口数状況(報告)について

島村事務局長より、連盟加入数状況の関する報告が行われ、予算目標未達であり、更により多くの加入を促すよう要請があった。連盟ウェブ会員登録を通じた自動引き落としも有効であるとされた。

5. 選挙候補者推進状況について

島村事務局長より、統一地方選挙の推薦状発行一覧とその結果内容が報告された。

6. 政治状況と連盟の対応について

宮島代表より、各政党への政策要求事項(予算・税制)について、日臨技で現在検討中の素案が資料にそって説明された。(1)~(3)については昨年度と同じで、(4)~(6)は職能を意識して今年追加検討されている事項である。また、平成28年の参議院議員選挙に関する状況報告があった。

(前頁より続く)

各政党への政策要求事項（予算・税制）

医療ニーズの要請に応える臨床検査技師を目指して

- (1) 臨床検査データの精度保証及び標準化事業の予算化（昨年要求事項）
- (2) チーム医療推進・在宅医療充実等のための臨床検査技師の活用（昨年要求事項）
- (3) 特定検査（輸血・微生物・病理・細胞診・遺伝子）の業務独占化（昨年要求事項）
- (4) 特定機能病院、がん拠点病院等への臨床検査技師の配置
- (5) 特定健康診査保健指導実施者への臨床検査技師の追加
- (6) 女性臨床検査技師の活用等

7. 連盟規約改正について

佐野幹事長より、1月常任執行委員会内で下記2つの討議案件の報告があり、都道府県連盟執行委員に意見を求めた。討議の結果、会費の口

数の値上げについては、今の時点では同意できない。値上げの前に会員数を増加させる努力をする必要がある、等ご意見をいただき、連盟会費の1口1,000円は維持されることになった。

- (1)平成28年年度から当会の連盟会費(1口：1,000円)を見直してはどうか。
- (2)組織強化のために各都道府県に連盟副支部長を設置してはどうか。

8. 質疑等

委員からは、広報の仕方を検討してほしい。ホームページ掲載だけでなく紙ベースでの広報はできないか。公務員も会員になれることを伝えて欲しい等ご意見をいただき、運天副代表からは、入会の勧誘促進のためのスライド(3ページに掲載)を作成したので、是非利用してほしい旨宣伝依頼があった。

以上

(連盟常任執行委員 副代表 梶山 広美)

期日	担当部門	活動内容
9～11月	組織対策・広報	各支部医学検査学会での連盟ブース展示・宣伝活動・加入勧誘
毎月	広報	連盟ニュースの発行
都度	渉外・政策調査	各政治団体、政党関連イベントへの出席
	女性部	女性の賛同、参画を促す調査、取材、資料収集、検討ネットを使つての情報発信(収集)
	青年部	青年世代への技師連盟活動の啓発、青年世代の交流イベントの企画



入会の勧誘促進のためのスライド

医療関連の職能団体はすべて政治連盟を設立しているのはなぜ？

- ・身分や地位の向上、職域拡大には政治力が必要不可欠です。
- ・国政に反映させるには、政治団体の活動が必要なのです。
- ・平成27年4月から臨床検査技師法が改正され、採血以外に患者さんからの検体採取が一部可能になったことはいい事例です。



私たちはどうしたらいいのか



- ・日臨技連盟ホームページをご覧ください。
- ・まず、あなたが加入してください。
- ・公務員は選挙活動には参加できませんが連盟に加入することは何ら問題ありません。
- ・日臨技連盟は日本臨床検査技師会の目的にある臨床検査技師の制度・身分の確立を政治的活動でサポートする組織であり、日臨技と日臨技連盟は表裏一体なのです。
- ・臨床検査技師の身分・地位向上に向けて団結しましょう。



当会の連盟

- ・平成10年7月に日臨技連盟が設立され、平成17年4月1日に「臨床検査技師等に関する法律」の施行に繋がりました。
- ・今後も臨床検査技師の身分・地位向上を進めていくための政治的要求には「数の力」が不可欠です。
- ・残念ながら当会の連盟加入率は平成26年度5.5%と低い状態です。当会の要望を国政に反映させるためには加入率20%の1万人を目指しています。

日臨技連盟に入会するには



- ・日臨技ホームページの日臨技連盟をクリックして新規登録をしてください。
- ・会費は1口千円です。
- ・連盟が発行している意見広告「連盟加入のお願い」もお読みください

日臨技連盟が目指すものは？



- ・臨床検査技師の身分・地位向上を国政に反映させるために国会に要求をあげて承認を得て立法化する。
(具体的目標)
- ・日臨技から国会議員を当選させる。
- ・国会議員連盟に働きかけて要求を国会にあげる。

当会から国会議員を当選させる



- ・次の国政選挙は、平成28年7月の第24回参議院選挙の予定です。
- ・改選数は121人(選挙区制73人、比例代表制48名)の予定です。
- ・現在、国会議員として国政を担っている臨床検査技師は日衛協から伊達忠一参議院議員・赤石清美参議院議員の2名です。
- ・日臨技からも1名、国会議員を当選させましょう。



■日本臨床検査技師連盟のブースを開設（愛知県）

愛知県連盟支部 森田秀夫

平成27年5月31日愛知県医学検査学会（於豊橋市）会場の一画において、日本臨床検査技師連盟のブースを開設しました。500名超の参加者を誇る学会場のメインフロアに連盟紹介パネルやノボリ以上にインパクトを残した代表の等身大を超えるポスターに加え、若い活力ある呼びかけにより連盟アピールが出来ました。

国会へ臨床検査技師を！！！！しっかりとした手応えを感じる事が出来ました。

若

人

の

参

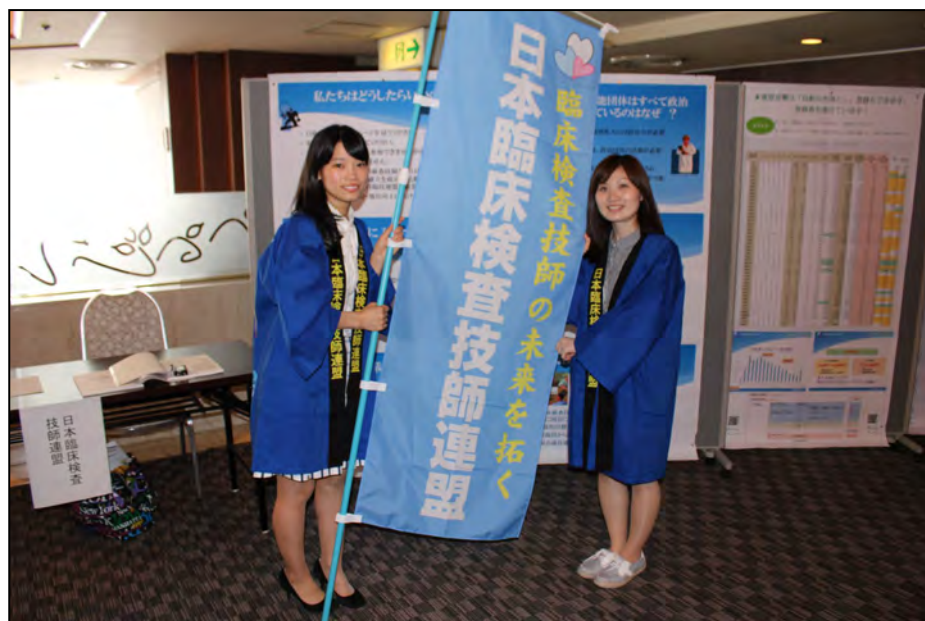
画

を

力

に

！



平成27年度連盟加入2,175口（前年比73%）

平成27年6月23日現在